

3 普及活動成果

(1) 八女地域の園芸産地をけん引する企業的経営体の育成

【要約】

八女地域の園芸産地維持・発展のため、八女地域農業振興推進協議会（以下、八女農推協という）と連携し、企業的経営体の育成に取り組んだ。

J Aや専門家と連携し、企業的経営計画を策定した農家を支援した結果、株式会社が1社発足した。また、「八女地域農業経営アカデミー」（以下、アカデミーという）を開催し、若手農家の企業的経営意識醸成を進めた。その結果、5名が企業的経営ビジネスプランを策定した。

【目的】

八女地域の園芸品目では、農業者の高齢化が進み、産地縮小が懸念される。また雇用を利用した企業的経営体は少ない。そこで、企業的経営を志向する農家を支援するとともに意識醸成や条件整備を進め、モデル的な企業的経営体を育成する。これらの取組により経営規模の拡大を進め、園芸産地の維持・発展と個別経営体の経営向上をめざす。

* 企業的経営体：雇用労力を利用して下に示す面積以上の栽培に取り組む経営発展志向を有する農家

イチゴ 60a、トマト 60a(冬春+夏秋)、ナス 60a(冬春+夏秋)、キク 80a、ミカン 400a、ブドウ 170a、ナシ 300a

1 活動対象の概況

八女地域の就農人口 約8,300人 うち70歳以上約3,200人(40%) (2015年 農業センサス)

表 J Aふくおか八女 主要園芸部会の状況

部会名	総農家数		面積		規模別農家数 (R1年)	
	H26年	R1年	H26年	R1年		
イチゴ	496戸	460戸	113ha	103ha	以上～未満 40a～60a 13戸	以上 60a～ 1戸
トマト(大玉、中玉)	98	95	25	22	40a～60a 6戸	60a～ 2戸
ナス	148	126	26	23	30a～60a 7戸	60a～ 1戸
電照菊	153	114	73	59	60a～80a 24戸	80a～ 15戸
ミカン	415	351	469	404	300a～400a 16戸	400a～ 10戸
ブドウ	325	315	171	163	120a～170a 5戸	170a～ 5戸
ナシ	109	95	113	98	250a～300a 2戸	300a～ 1戸

2 活動の内容等

(1) 企業的経営体の育成

ア イチゴ、トマト、中玉トマト、ナス、電照菊、ミカン、ブドウ及びナシ部会の部会員に対して規模拡大の意向を調査した。

イ 既に企業的経営計画を策定している農家に対し、普及指導センターとJ Aが連携したコンサルテーションや専門家による相談会により、計画の実現を支援した。

ウ 八女農推協の各専門部会で規模拡大に必要な条件について検討した。

(2) 企業的経営意識の醸成

規模拡大を志向する若手農家が企業的経営ビジネスプランの策定方法を体系的に

学ぶ場として八女農推協に通年研修としてのアカデミーの実施を提案し、開催に至った。アカデミーでは、普及指導センターとJAが連携し、ビジネスプランの策定を支援した。また、アカデミー受講者以外にも専門家派遣事業や「ふくおか農業経営アカデミー」受講者へのフォローアップにより企業的経営ビジネスプラン策定を支援した。

* 企業的経営ビジネスプラン：将来の経営目標が企業的経営体となる計画

3 活動の成果

(1) 企業的経営体の育成

ア 意向調査の結果、規模拡大を志向する農家数（下表）や規模拡大のための条件が明らかとなった。野菜及び電照菊では労働力の確保、果樹では優良園地の確保を挙げる農家が多い。

表 規模拡大を志向する農家数（条件が合えば規模拡大する農家数を含む）

部 会	イチゴ	トマト (大玉、中玉)	ナ ス	電照菊	ミカン	ブドウ	ナ シ
規模拡大志向 農家数	55 戸	20 戸	14 戸	23 戸	18 戸	39 戸	7 戸

イ 企業的経営計画を策定した農家に対するコンサルテーションや専門家による支援により、3戸の家族経営体が統合し、1つの株式会社として経営を開始した。また、他の支援対象農家も、具体的になった実践計画を基に経営改善を進めた。

(2) 企業的経営意識の醸成

アカデミー受講者には、研修内容は好評であった（下表）。受講者11名が規模拡大に向けビジネスプランを策定、このうち、3名が企業的経営ビジネスプランを策定した。また、受講者以外にも、専門家派遣事業や「ふくおか農業経営アカデミー」により支援している農家も企業的経営ビジネスプランを策定し、合計5名（イチゴ2、電照菊2、ミカン1）が企業的経営ビジネスプランを策定した。



写真 アカデミーを受講する若手農家

表 アカデミーのアンケート結果（抜粋）（10名中）

質 問	回 答	人数
ビジネスプランを経営に活かせるか	活かせる	7人
	部分的に活かせる	3人
周囲の農家にアカデミー受講を勧めるか	ぜひ勧める	5人
	勧めてもよい	5人

4 今後の見通し又は課題

- (1) 企業的ビジネスプランを策定した農家の早期目標到達支援
- (2) 本年度のアカデミー受講者の経営発展支援
- (3) 経営規模拡大に向けた労働力確保のための仕組みづくり
- (4) 規模拡大を志向する若手農家の掘り起こしと企業的経営意識の醸成